

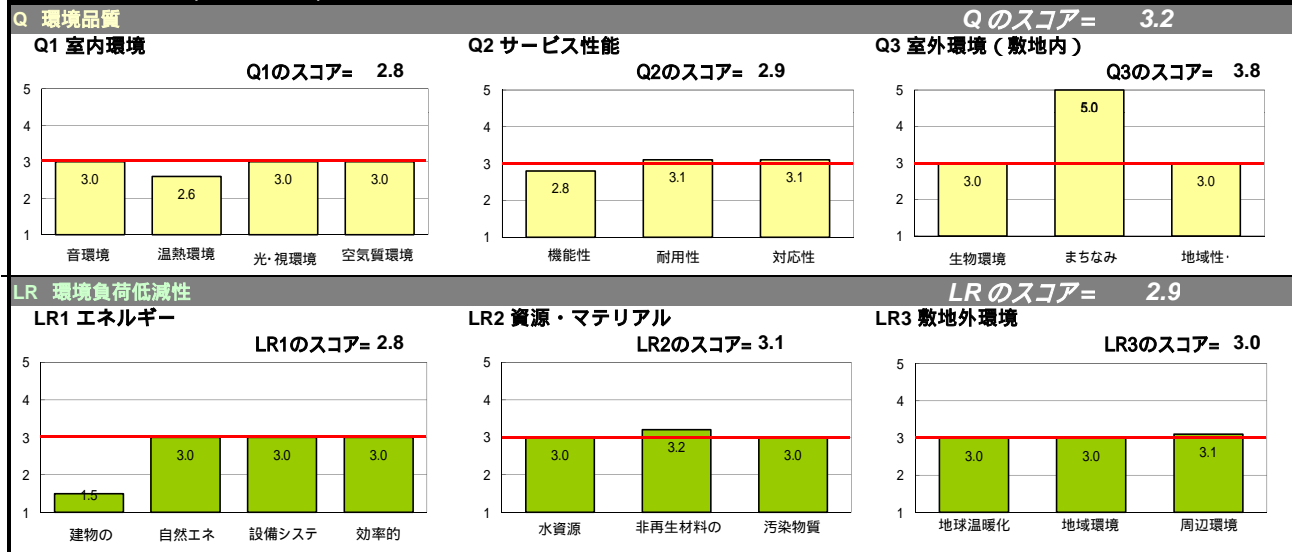
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	関野ビル	階数	地上3F
建設地	神奈川県秦野市松原町150番地	構造	S造
用途地域	近隣商業地域・第1種住居地域・準0	平均居住人員	700人
気候区分		年間使用時間	3,650時間/年
建物用途	飲食店、集会所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2011年10月 0.0	評価の実施日	2011年4月20日
敷地面積	4,172 m ²	作成者	有限会社マックスフィールド
建築面積	3,042 m ²	確認日	2011年4月27日
延床面積	8,116 m ²	確認者	有限会社マックスフィールド



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート) 2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート) 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合	その他
耐火建築物により、外壁はALC及びイソバンドを使用、壁面内部はウレタンt25吹き付け、サッシ面はLow-eガラス+ブラインドの設置にて断熱性能を確保した計画とします。	『渋沢駅周辺土地区画整理』地域内で建物高さは3階まで、隣地境界線からのセットバックも考慮した計画とします。また、景観まちづくり条例で、丹沢の稜線を意識した建物ボリュームと外観デザインとします。
Q1 室内環境 光・視環境: 自然光の利用とLEDにより省エネを考慮した計画とします。・空気質環境: 換気回数を法定基準より多く設定して良好な空気質の確保を行います。	Q2 サービス性能 内装材は床は耐久性のあるタイル、壁と天井はリニューアブル時を考慮した塗料を基本に計画します。共用PS・DSを広く取りメンテナンス性を向上させた計画とします。
LR1 エネルギー デマンド制御にて省エネ対策を行い、照明はLED、衛生器具は節水タイプを使用します。	LR2 資源・マテリアル 内装仕上及び建材において低環境負荷材を可能な限り使用した計画とします。
	LR3 敷地外環境 1階テナント部分は極力開口部の少ない計画とし、出入口に風除室を設置して騒音を抑えた計画とします。日影については、法基準クリアー+北側は既存建物より後退した計画としています。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される